

乳がん高度検診・治療センター NEW-す NO.29

2016.10

乳 がん と 遺 伝

不安を抱えておられる方はまずカウンセリングを

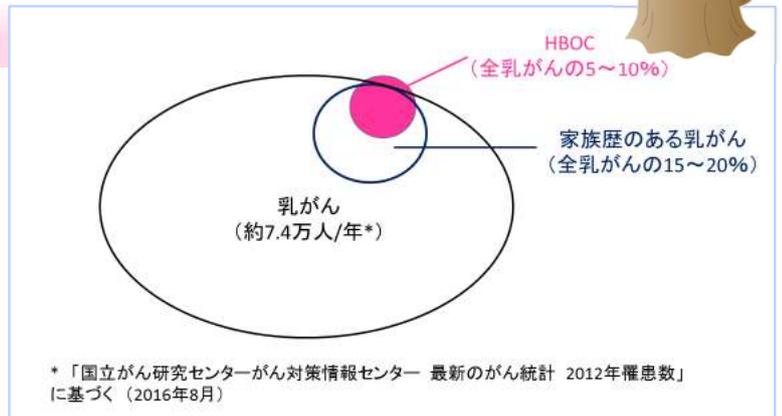
乳がんと遺伝については、この乳がん高度検診・治療センターNEW-すでもすでに何度か取り上げてきました。当院でも、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（英語名*での頭文字を取ってHBOCとも呼ばれます）の原因遺伝子であるBRCA1あるいはBRCA2遺伝子という遺伝子の検査体制が整っています。ただ、まだ広く認識されるには至っていないようですので再度この話題を取り上げます。

* **Hereditary Breast and Ovarian Cancer Syndrome**



乳がんの発症と遺伝について

乳がんの発症には、肥満、妊娠・出産、初経年齢などの環境因子が大きく関与する一方、5～10%は背景に遺伝的な要因がひそむ乳がん、すなわちHBOCなのです。遺伝の可能性がある場合、HBOCであるかどうかを知ることは患者さんご本人だけでなく、血縁者の方々にとっても健康管理上の利点があります。こうした遺伝子に変異があると、乳がんのみならず卵巣がんになる危険性が高く、また若い年齢での発症や、両側の乳がんになりやすいなどの特徴があります。もし、こうした遺伝子に変異があれば、その変異はこども（次世代）に男女の別に関係なく50%の確率で受け継がれます。



遺伝子検査



HBOCであるかどうかはBRCA1あるいはBRCA2遺伝子という遺伝子の異常（変異）の有無を血液で調べることでわかります。ただ、この検査の特殊性は、その検査結果が血縁者にも及ぶことであり、それをどう捉えるかはデリケートな問題で、患者さんの価値観により大きく異なります。そのため、HBOC診療では遺伝子検査前のカウンセリングが極めて重要で、検査を受ける利益と不利益をよく考えていただいたのち、ご希望があれば遺伝子検査へと進むことになります。気になる方は、まずは担当医の診察や乳がん看護外来などで、おおまかなリスク評価を受けられ、相談されることをお勧めします。

遺伝カウンセリング



HBOC遺伝カウンセリングは、通常の診察日とは別の日時を設定して面談を行い、その結果、遺伝子検査を希望される方は、同意書を提出していただき所定の日に採血するという手順となります。なお、遺伝カウンセリングおよびBRCA1/2遺伝子検査は現時点で保険適用の対象外で、すべて自費診療となり一般的な検査よりもかなり高額です。

さらに詳しいことを
お知りになりたいことがありましたら、
乳がん高度検診・治療センターに
お問い合わせ
ください。



市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865

KAZUKA